

平成24年度
実施事業

事務事業名	カーブミラー設置事業
-------	------------

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	3	交通安全の推進
小分類	2	交通安全施設の整備
主要な施策	1	①交通安全施設の増設
事務事業番号	001	事業開始年度 昭和 60 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービスグループ
-----	-------	-------	------------

事務事業の概要 《Plan・Do》

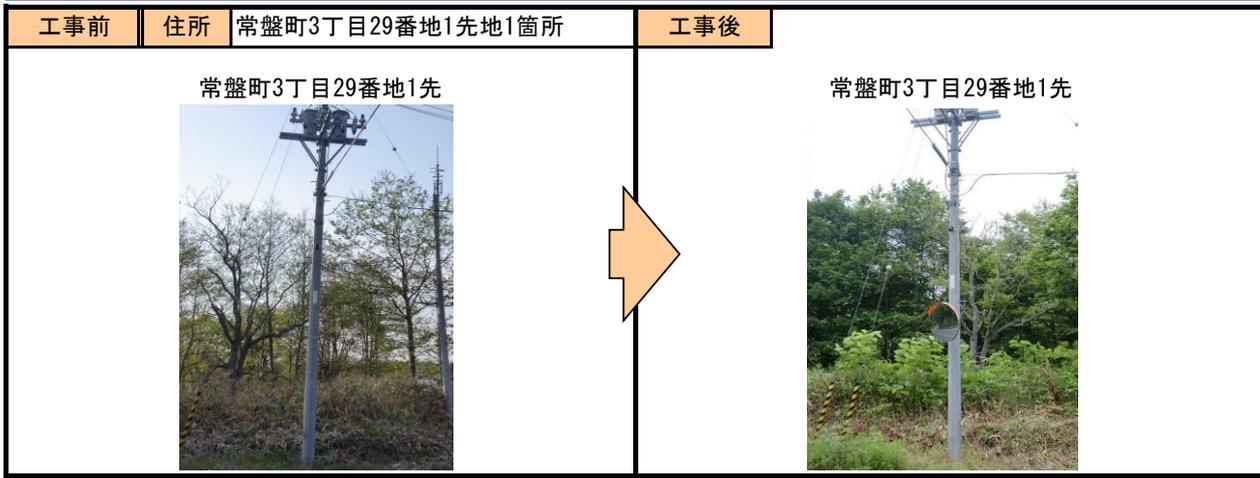
目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	見通しの悪いカーブや交差点での交通事故防止を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	町内会の要望により、見通しの悪いカーブや交差点での交通事故防止を図るため、カーブミラーを設置した。 ・設置数：3箇所（常盤町、若草町） ※設置した3箇所については、工事を伴うものではないため、交通安全推進経費（修繕料）により設置した。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	町内会等からの設置要望があることから、今後においても必要箇所へカーブミラーを設置する。
根 拠 法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	・交通安全対策基本法 ・北海道交通安全基本条例 ・登別市交通安全条例

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	456	0	800	800	800
事業費 合計			456	0	800	800	800

指標の推移 《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 市内の交通事故件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	143	115			
	②		目標値					
			実績値					



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 カーブミラーの設置は、交通安全対策特別交付金事業のひとつで、町内会等の要望に基づき危険な交差点等に設置するものであり、安全対策として妥当である。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 地区懇談会や、市民、町内会、各種団体等から具体的な意見・要望がある事業である。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input checked="" type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 多額の経費が必要となるが、交通事故防止のためには、交通安全施設の設置は必要である。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input checked="" type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 交通事故件数や交通事故傷者数が減少している。

①担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	全国・全道で発生した交通事故がテレビ・新聞で報道されることで、交通事故が、より身近なものとして捉えられ、市民の交通安全への関心や無事故への意識の高まりは増しており、交通安全施設であるカーブミラーの設置要望は、町内会要望等を通じ非常に高いことから事業を継続することが必要である。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価

維持	備考	
-----------	----	--

③総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考	
-----------	----	--

〔評価区分〕

- ◆拡大（事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業）
- ◆維持（事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施箇所等に変更が生じる事業）
- ◆改善（当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業）
- ◆休止（暫定的に休止する事業）
- ◆廃止（事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業）
- ◆終了（事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業）